

乙訓地域では、二市一町に様々な課題が溢れており、課題解決に対して、より多くの人による発想力や行動力が重要であり、乙訓（まち）がその様々な課題に立ち向かう人びとで溢れた活気ある乙訓（まち）でなくてはなりません。乙訓（まち）の課題解決に立ち向かう、メンバー一人ひとりや乙訓（まち）の人びとが、中心となり周囲の人びとに影響を与え協働に導くことのできる「人の心に影響を与える人財」へと成長する必要があります。

まずは、3月例会では、我々が人望を得られる人財となるために、何事においても自分事と捉え前向きに明るく活動する心を学び、当事者意識をもつことで、課題や物事に対して誠実な対応と責任感をもつ重要性を認識して頂きます。そして、7月例会では、課題に取り組む姿勢が人に共感を生むことを知って頂くために、課題に疑問を抱き、本質を見極める力と柔軟な発想力で自由に物事を考える機会を創出することで、ともに楽しく考えを巡らすことが共感へと繋がることを学んで頂きます。さらに、11月オープン例会では、課題に立ち向かう人びとを増やすために、共感したことを行動に移す動機のきっかけを知り、人の心に響く魅力的な念いの伝え方を地域の人びととともに学ぶことで、課題解決へ人を導く先導者へと成長して頂きます。また、メンバーの人としてのスキルを向上するために、日本青年会議所セミナープログラムを受講推進することで、青年経済人としての意識醸成に努めます。さらに、日本青年会議所が展開している事業を理解するために、人財育成に関連性のある事業を参加推進することで、学びをもち帰り活動に活かして頂きます。

むすびに、人財育成委員会の名の通り、メンバー全員の学びとなる事業の構築に全力で努めます。メンバー全員が自らの成長を実感し、「変革時代の先導者」となり、今後自身の直面する課題に人びとを巻き込み、課題解決へと立ち向かう人財へと成長して頂きます。